

# 第 1 号 議 案

## 令和 4 年度 事業報告 承認の件

### ①概 要

令和 4 年度には第 7 波の新型コロナウイルス感染症拡大がありましたが、協議会の活動としては、感染防止対策を徹底したうえで、ほぼ計画どおりの実施を図ることができました。

主要なイベントの実施となる「おぎくぼセンター祭」、「さいえんす緑日」、「アート展」、「マルシェ&ハロウィン子どもまつり」、「本天沼集会所まつり」などを状況に対応すべく、相当の工夫をほどこして実施、お蔭様で好評を得ることができました。このほか「防災フォーラム」も継続開催、「地域懇談会」も今年度は開催することができました。

また講座、講演会、コンサートなど継続したプログラムに加え、日本と関わりの深い海外のインドネシア社会・文化の紹介、食のプログラムなどを新たに加え実施いたしました。

今年度よりホームページからの参加申込みシステムを本格化した結果、応募総数が増加し、かつ、全体の 3 分の 2 を占める程になりました。

「防災フォーラム」は、テーマを「障害者と考える防災」として実施、多様性を認めあうべき地域に向けてひとつの提案になったと思っております。前年度はコロナ第 6 波のため延期をせざるを得なかった「地域懇談会」を何とか開催に漕ぎつけることができました。

当協議会の 40 周年記念事業として始まった『荻窪の記憶』シリーズですが、年度末には総集編となる冊子の発行を準備しました。また第 5 回パネル展示をセンター内と杉並区立郷土博物館分館で開催することができました。

近い将来の課題として、令和 6 年度から 7 年度にかけて荻窪地域区民センターの大規模改修工事が予定されますが、区の担当部局との対話を踏まえ工事期間中の対応に関する要望を伝えました。そのため、協議会内でまずは協議会の役割や事業遂行体制の見つめ直しのため検討会をもちました。これは将来の協議会活動を考える基礎になるものです。

なお協議会委員の体制ですが、年度末には 22 名となっております。

以下に、各部の活動状況の詳細を報告いたします。

## 「総務部」

前年度は新型コロナウイルス感染拡大により中止となった地域懇談会を、今年度は2月に開催することができました。

委員向けの館内研修は、防災フォーラムに向けて、杉並区障害者団体連合会の方に講演をお願いしました。

また館外研修は、コロナ禍の波の間を縫って12月に「東京都庭園美術館」を見学しました。

恒例の近隣清掃「クリーン大作戦」は、荻外荘通りの清掃活動を行いました。

住民の集いの地域交流会「こみゅに亭カフェ」は、阿佐ヶ谷在住のジャズシンガーを招き、歌とトークの楽しいふれあいの場となりました。募集人数はコロナ禍前の三分の一程度にし、参加者を25名に制限をして実施しました

## 「地域交流部」

令和4年度は、長引く新型コロナの影響から開催内容に制限はありましたが、計画した5つのイベント（令和4年、6/5 おぎくぼセンター祭、9/24,25 アート展、10/30 マルシェ&ハロウィン子どもまつり、11/6 地域ふれあいアフタヌーンコンサート、令和5年、2/26 本天沼集会所まつり）をすべて実施することができました。（詳細：地域交流部、集団事業および協働事業）

各イベントは従来から来場者の拡大を目指していますが、10月実施の「マルシェ&ハロウィン子どもまつり」は、昨年唯一実施したイベントの内容をベースに、子どもたちの学びと遊びにスポットを当て、親子でセンターに集いたくなるよう企画しました。2時間30分の開催時間で約500名に来場いただき大変な賑わいのイベントとなりました。

また、このまつりには、都立荻窪高校の生徒会から5名がボランティアとして手伝いに来ていただき、区民との触れ合いを通じた社会活動経験の場ともなりました。

一方、コロナの感染防止の対策として、水分補給を除き館内は飲食禁止で実施しました。従来から祭りでの飲食を楽しみにいていた方の、昼食帰宅後の再来館がなかったためか、午後からは来場者の伸びを欠きました。

## 「事業企画部」

令和4年度も新型コロナの影響下での活動となり、各講座では教室の収容能力の30～50%程度に募集定員を設定し、開催時に当たっては感染防止対策に万全を期しました。とはいえ、昨年度よりは感染症への警戒も徐々に緩めることができ、開催講座・イベントの定員（総数 令和3年度414人、令和4年度676人）、参加人数（延べ参加数 令和3年

1,062 人、令和 4 年 1,365 人）ともに増加しました。講座・イベント開催数は 27 で昨年の 25 より微増です。

令和 4 年度も、「リズム&ストレッチ」、「秋を楽しむ木の実工作」、「荻窪寄席」などの定評ある講座に加えて、いくつかの特徴ある新たな企画がありました。多文化共生を指向した協働事業「インドネシアを楽しもう」、地域への関心を促す野外講座「善福寺池の四季」4 回シリーズ、荻窪の食文化の一端を紹介する「フランス料理講座」、「大人のワイン講座」などでいずれも好評でした。区民の皆様の多様な学習への要望に応えられるよう、今後も新たな視点での講座を鋭意企画していくきっかけとなったものと捉えています。

また、3 年ぶりに「さいえんす縁日」が復活し、多くの児童と若い世代の方々に参加して頂きました。

昨年まで西荻地域区民センター協議会と協働開催していた「防災フォーラム」ですが、諸般の事情から、令和 4 年度は当センター協議会単独での開催となりました。独自企画の利点を生かし、「障害者と考える地域の防災」というこれまでとは視点を変えたテーマを掲げ、関連諸団体、自治会のご協力を得て貴重な会を持つことができました。

荻窪地域の近代史を資料や写真と共に繙く企画として、大変好評をいただいていた「荻窪の記憶」プロジェクトは、ひとまず当協議会管轄のすべての地域を回すことが完了致しました。平成 28、29 年に 6 回の講座、平成 29 年～令和 5 年にかけて 5 回のパネル展示、3 冊の小冊子の発刊を行ってきました。これまでの成果を冊子「総集版 荻窪の記憶」にまとめました。（発刊は令和 5 年 4 月予定）

杉並区制 90 周年事業の一つとして、「原水爆禁止署名運動パネル展」が当区民センターロビーにて 12 月上旬の一週間にわたり開催されました。

#### 「広報部」

広報紙「わたしのおぎくぼ」を計画通り年 6 回発行しました。ホームページは事業企画部と連携し、講座などの申し込みをホームページからも出来るように改め、令和 4 年 4 月から運用を開始しましたが、大きなトラブルもなく、順調にアクセスを伸ばしています。

令和 4 年度は、隔年発行の「活動報告書」の発行年度にあたり、令和 3 年度・4 年度の協議会の活動を取りまとめ、「活動報告 22 号」を年度末に発行しました。

また、「荻窪の記憶」プロジェクトの支援を行い、プロジェクト活動の大きなマイルストーンとなる冊子「総集版 荻窪の記憶」の編集に携わりました。

## ②各部事業の詳細

### [総務部]

名 称	開 催 日	内 容
総 会	4月26日(火)	町会、自治会、学校支援本部、ケア24 など参加
会 計 監 査	4月12日(火) 10月18日(火)	令和3年度 決算監査 令和4年度 上半期監査
委員研修 (館内) (館外)	9月13日(火) 12月15日(火)	「障害によって災害時の対応はどう違うのか」 講師：高橋 博氏(杉並区障害者団体連合会) 「東京都庭園美術館」見学
近隣清掃 クリーン大作戦	9月21日(火)	荻外荘通りの清掃活動
地域懇談会	2月5日(日)	「ふれあいを深めるには」講演→討議 司会：中島篤氏(社会福祉協議会・地域支援課) 講師：秋山成子氏(まちなかコミュニティ西荻南) 講師：稲葉文子氏(子育てきずなサロンぐーちょきはー)
地域交流会 「こみゆに亭カフェ」	8月28日(日)	「歌とおしゃべりでつながろう」 ジャズシンガー 小田陽子氏
協議会活動検討会	9月6日、10月18日、 11月8日、12月13日、 1月24日	荻窪地域区民センターの改修計画が具体的になるのに際し、協議会の役割を改めて見 つめ直し、今後の運営体制を考えるために 設置された内部検討会を実施した。
役員会・委員会	毎 月	毎月開催の役員会及び委員会資料の作成、 議事録作成
経 理 業 務	随 時	講座・講演会、お祭りなど費用支出の管理、 予算執行全体の管理等



[地域交流部] 集団事業

事業名	開催月日	内 容
第 44 回 おぎくぼセン ター祭	6 月 5 日	<p>[センター祭りが戻ってきました!]をテーマに実施 アウトドア：</p> <p>苗木配布：区緑化事業「苗木で募金」17,158 円寄付 杉並産野菜販売：JA とタイアップ 4 地区 6 生産者出荷 花販売：生産者出店</p> <p>1 F, 舞台：7 グループ（和太鼓、ソーラン節、お囃子・獅子舞、江戸落語、出前講座、日本舞踊、ヒップホップダンス）</p> <p>廊下：3 グループ（祭りと動物関連写真展示）</p> <p>2 F、体験コーナー</p> <p>宇宙空間探索、似顔絵、発電体験、環境保全、栄養相談、消費者センター、模擬消火、健康測定</p> <p>* 「宇宙空間探索」では初めて申込を往復はがきと WEB で実施 （葉書 3，WEB110）</p> <p>西田小 PTA 応援：10 名（午前 5 名、午後 5 名）</p> <p style="text-align: right;">来場者：約 900 名</p>
第 44 回 アート展	9 月 24、25 日	<p>コロナ前は毎年 2 月に開催、今年度は芸術の秋に開催</p> <p>個人出展：52 作品（油絵、水彩画、水墨画、写真、陶芸、オブジェ類 等）</p> <p>グループ：10 グループ（絵手紙、絵画、表装、陶芸、写真、ガラス絵、等）</p> <p>学校関係：4 校（西田小、沓掛小、天沼中、松溪中 + エベレスト）</p> <p>特別展示：高校シリーズ第 1 弾 都立荻窪高校美術部</p> <p>西田小 PTA 応援 7 名（午前 3 名、午後 4 名）</p> <p style="text-align: right;">来場者：約 500 名</p>

マルシェ & ハロウィン子どもまつり	10月30日	<p>昨年のおぎくぼセンター祭の規模を縮小して実施した内容を基礎に、今年初めて主たる来場者が「子供を連れて家族でセンターに集っていただく」ことをねらい実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マルシェ：7ブース（綿菓子、ポップコーン、和菓子、クッキー、パン、飲料、野菜）</li> <li>・ハロウィン：特設会場設置 96家族写真撮影</li> <li>・3歳未満児子育て支援ホットサロンに協賛 ：33組の親子来場参加</li> <li>・苗木配布：150本 緑化事業への募金：20,952円</li> <li>・野菜直売：7地区、11生産者出荷に拡大 荻窪高校生徒会のボランティア経験</li> </ul> <p>来場者：約500名（2時間半）</p>
第29回 本天沼集会所 まつり	5年 2月26日	<p>今回は3年ぶりの開催となり、3月3日間近の開催で「ひな祭り」をテーマに、全世代が参加し楽しめる催しを実施</p> <p>アウトドア：杉並産野菜直売は3地区（宮前、高井戸、上井草）5生産者出荷</p> <p>苗木の配布（100本）はおぎくぼセンター祭などと同様 区緑化事業に寄付を募った：募金 16,497円</p> <p>1F・販売 綿菓子、ポップコーン、ジュース類</p> <p>2F・お雛様との写真撮影会（300名を超える来場者）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・舞台 キーボードピアノ演奏（大人の音楽クラブ） 人形劇（つくしの人形劇） 天沼に伝わる民話「キツネのあだ討ち」を 午前午後の2回実施 HIP,HOP ダンス</li> <li>・健康管理 骨強度、血管、肌年齢測定</li> </ul> <p>来場者：約600名</p>

[地域交流部] 協働事業

事業名	開催月日	内 容
第8回 地域ふれあい アフタヌーン コンサート	11月5日	<p>荻窪音楽祭と協働。</p> <p>8回目の今回はプロによる演奏で、クラシックから軽音楽まで来場者の年齢層を考慮したプログラムで実施</p> <p>1部：13:30～14:10 「吉久亜紀トリオ」</p> <p>G線上のアリア、映画音楽メドレー、鮫 他</p> <p>2部：14:20～15:00 「あきから」</p> <p>LET IT BE, チャルダッシュ、あきメドレー他</p> <p>来年もまた聴きたい要望多数</p> <p>来場者：70名（満席）</p>
松溪中あそび 市	11月5日	<p>中学生が小学生にあそび方、器具の使い方などを指導する形で市が開かれ、多くの子ども達で大変な賑わいとなった</p> <p>協議会から3名が参加し、缶バッチの器械操作と、資材の提供を行った</p>

[事業企画部]

No.	開催月日	講座名：講師名・協働先	定員	単位	延べ参加数(人)
			(名)	(回)	
1	5月14日	野外講座「武蔵野の面影を探して」 松井 和男 氏	15	1	14
2	5月、6月	最高の短編小説を読む 生田 美秋 氏	20	4	67
3	5月28日	季節の草花の寄せ植え（洋風） 吉野 華恵 氏	12	1	12
4	6月	リズム&ストレッチ 後藤 鈴香 氏	20	4	78
5	6月16日	◎善福寺池の四季 第1回初夏 星野 義延 氏、星野 順子 氏 府中の植物を記録する会	15	1	16
6	7月18日	◎講談出前授業 「耳なし芳一」 神田 山緑 氏 講談協会 会場：沓掛小学校	—	1	150
7	7月31日	◎さいえんす緑日 くらりか、だがりや楽校、すぎなみシェアリング ネイチャーの会、どこ竹 竹とんぼ教室他	200	1	197
8	8月	ハーモニーを楽しむヴォイストレーニング 安藤 操 氏	20	4	69
9	8月6日	◎インドネシアを楽しもう インドネシア・ヘリテイジ・サポーターズ	47	1	49
10	8月13日	◎講談鑑賞会 神田 山緑 氏 講談協会	30	1	22
11	9月15日	アメリカ文学は夫婦愛から始まる 渡辺 信二 氏	20	1	29

12	9月、10月	初心者のための自分の一句を残しましょう 野崎 海芋 氏	20	4	69
13	9月、10月	与謝野晶子と源氏物語 神野藤 昭夫 氏	20	2	40
14	10月6日	◎善福寺池の四季 第2回秋 星野 義延 氏、星野 順子 氏 府中の植物を記録する会	15	1	12
15	10月	いきいき朗読教室 岡 摂子 氏	20	4	75
16	10月23日	◎防災フォーラム2022 杉並区防災課、杉並区障害者連合会、 ほっとけない連（一般社団法人）、 みかんぐみ（NPO）他	—	1	106
17	11月6日	東大アプリで考える首都直下型地震 72時間 田中 淳 氏	40	1	19
18	11月9日	フライパン一つでできるフランス料理講座 天下井 廉人 氏	20	1	18
19	11月、 12月	大人のワイン講座 上田 紀子 氏	20	2	19
20	12月5日	◎荻窪健康サロン in 荻窪地域区民センター 荻窪保健センター	—	1	151
21	12月12日	秋を楽しむ木の実工作 山室 京子 氏	12	1	16
22	12月	◎背骨を鍛えよう！腰痛スッキリ体操 高橋 晃史 氏 背骨コンディショニング協会	20	3	61

23	12月11日	◎荻窪寄席 金原亭馬玉 氏 翁家和助 氏 杉並区中途失聴・難聴者の会 要約筆記サークル さくらんぼ	30	1	24
24	2月19日	◎善福寺池の四季 第3回 草木の冬越し 星野 義延 氏、星野 順子 氏 府中の植物を記録する会	30	1	15
25	2月2日	ひらやすかつこが歌う 日本の歌と世界の歌 メゾソプラノ ひらやす かつこ ピアノ 田中美里	30	1	37
26	12月	◎区制90周年記念事業 「原水爆禁止署名運動パネル展」 (12月6日～11日) 杉並区	—	—	—
27	12月、令和 5年1月、 2月、3月	◎荻窪の記憶Ⅴ「パネル展示」 展示場所： 荻窪地域区民センター (令和4年12月14日～5年1月16日) 郷土博物館分館 (令和5年1月21日～3月19日)	—	—	—
合 計 27 回 (◎協働事業 13 回・学級講座 14 回)			676	45	1,365

## [広 報 部]

### 1. 荻窪地域区民センター協議会の広報紙 「わたしのおぎくぼ」の発行

(1) 発行回数 年 6 回 ( A 4 判・4 ページ・カラー印刷 )

(2) 発行部数 No.357～362 各 11,000部

(3) 配布部数 (令和5年3月時点)

① 区立小学校5校・区立中学校4校・都立高校1校 5,335部

② 町会・自治会回覧配布用 2,369部

③ 区及び区関連施設等配布用(交換便) 1,236部

④ 協議会委員による配布 960部

⑤ 常設設置場所・その他配布・ヨビ 1,100部

合計 11,000部

(4) 発行日と (メインの記事) ※印は発刊後に延期または中止

① No.357 6月・7月号 (表紙 おぎくぼセンター祭) 5月31日発行

② No.358 8月・9月号 (表紙 アート展) 7月12日発行

③ No.359 10月・11月号 (表紙 マルシェ、荻窪音楽祭) 9月28日発行

④ No.360 12月・1月号 (表紙 パネル展 荻窪の記憶V) 11月29日発行

⑤ No.361 2月・3月号 (表紙 本天沼集会所まつり) 1月31日発行

⑥ No.362 4月・5月号 (表紙 新会長挨拶・新年度の行事) 3月14日発行

(5) 編集内容

① 協議会の事業 (講座・講演・イベント等) の開催案内、及び結果報告

② 総会など協議会行事の報告、委員募集、地域情報の掲載

③ 連載ものの掲載 (「近隣の高等学校訪問」、「『荻窪の記憶』こぼれ話」)

### 2. 「わたしのおぎくぼ」以外の発行物

●「総集版荻窪の記憶／エピローグ・発展と変貌」 編集 3,000部

●「活動報告22号 (令和3年4月～令和5年3月) 編集・発行 800部

### 3. ホームページの運用

・ホームページ画面から講座などの受講申込が出来るように改修 4月運用開始

(申し込み件数の約2/3がホームページ、1/3が往復はがき)

今までHPは一方通行の発信であったが、読者の反応が見えるようになった

・今年度も「お知らせ」を活用したタイムリーな情報発信に努めた

お知らせ掲載件数 令和4年度：50件 (令和3年度：50件)

### 4. その他

◆年度を通し、広報部員が協議会の全ての行事・事業等取材し、写真撮影を行った

◆「荻窪の記憶」PJに積極参加し、パネル展示 (12/14～1/16 当センターロビー、1/21～3/19 杉並区立郷土博物館分館)、冊子の編集を完了した

## 第 2 号 議 案

### 令和 4 年度 事業会計収支決算報告 承認の件

(令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 3 1 日まで)

収入決算額	9,459,694
支出決算額	9,008,026
差引残高	451,668

区への返還金	60,249
差引翌年度繰越金	391,419

#### I. 収 入

(単位 円)

区 分	予算額	決算額	差引差額	差額 (うち補助金)	差額 (うち自主財源)
1. 区補助金	8,672,500	8,672,500	0	0	0
①委員活動費	3,871,500	3,871,500	0	0	0
②事業費	4,551,000	4,551,000	0	0	0
③事務局運営費	250,000	250,000	0	0	0
2. 諸収入	437,000	414,298	△ 22,702	0	△ 22,702
①事業参加者収入	174,000	214,600	40,600	0	40,600
②模擬店売上収入	260,000	188,910	△ 71,090	0	△ 71,090
③雑収入	3,000	10,788	7,788	0	7,788
3. 繰越金	372,896	372,896	0	0	0
合 計	9,482,396	9,459,694	△ 22,702	0	△ 22,702



## Ⅱ. 支 出

(単位 円)

区 分	予算額	修正額	修正後 予算額	決算額	差引差額	差額 (うち区補助金)	差額 (うち自主財源)
1. 委員活動費	3,871,500	0	3,871,500	3,838,500	33,000	33,000	0
2. 事業費	4,970,000	0	4,970,000	4,802,419	167,581	26,476	141,105
①学級講座費	491,000	0	491,000	484,088	6,912	0	6,912
②集団事業費	1,160,000	△ 220,000	940,000	913,485	26,515	18,306	8,209
③地域活動事業費	10,000	0	10,000	8,251	1,749	1,749	0
④懇談会費	230,000	0	230,000	147,995	82,005	0	82,005
⑤広報活動費	1,496,000	0	1,496,000	1,494,681	1,319	0	1,319
⑥総会費	40,000	0	40,000	22,865	17,135	0	17,135
⑦保険料	80,000	0	80,000	74,440	5,560	1,760	3,800
⑧事務費	416,000	0	416,000	414,770	1,230	1,230	0
⑨交通・通信費	40,000	0	40,000	39,763	237	237	0
⑩渉外費	30,000	0	30,000	6,806	23,194	3,194	20,000
⑪協働事業費	977,000	220,000	1,197,000	1,195,275	1,725	0	1,725
3. 事務局運営費	250,000	0	250,000	249,227	773	773	0
4. 委員研修費	100,000	0	100,000	42,699	57,301	0	57,301
5. 諸支出金	140,896	0	140,896	75,181	65,715	0	65,715
6. 予備費	150,000	0	150,000	0	150,000	0	150,000
支出合計	9,482,396	0	9,482,396	9,008,026	474,370	60,249	414,121

(区への返還金) (翌年度繰越金)

Ⅲ. 残高 (収入-支出)	0	0	0	451,668	451,668	60,249	391,419
------------------	---	---	---	---------	---------	--------	---------

## 貸 借 対 照 表

令和5年3月31日現在

(単位 円)

資産の部		負債の部	
普通預金	451,668	区への返還金	60,249
		負債合計	60,249
		正味財産の部	
		繰越金	372,896
		当期収支差額	18,523
		正味財産合計	391,419
資産合計	451,668	負債・正味財産合計	451,668

## 第 3 号 議 案

令和 4 年度事業会計収支決算に関する

会計監査報告書承認の件

### 会 計 監 査 報 告

令和 5 年 4 月 1 1 日 (火)

荻窪地域区民センター協議会

会 長 恵 羅 博 様

会計監事

伊藤 佳

会計監事

桑 山 敬

荻窪地域区民センター協議会監査規則に基づき、令和 4 年度 収支決算について関係帳簿・起票書類を監査したところ、いずれも財務規則に準拠し、適正、正確に処理されていることを認めます。

以 上

## 第 4 号 議 案

### 令和 5 年度 事業計画案 承認の件

#### ①概 要

令和 2 年に始まった新型コロナウイルス感染症の騒ぎも漸く収まりつつありますが、この間、あらゆる社会活動が大きな制約を受け続けました。当協議会も直近では「令和 4 年度事業報告」にあるように、制約の中で工夫を重ね、出来る限りの活動を行ってまいりましたが、十分であったとは言えません。

協議会の会則には「『住民自治』の精神にもとづき住民相互の交流の便宜を図るとともに、良好なコミュニティを形成することにより、住みよいまちづくりを推進すること」を目的として謳っております。この 3 年間で地域社会に閉塞感が定着し、「住民相互の交流」も「コミュニティの形成」も後退してしまったのではないかと惧れます。

新年度は、やや沈滞した感のある地域社会が再生に向けて再出発するのに呼応して、協議会も新たな出発の年としなければなりません。従来 of 企画の見直しを進め、内容のより一層の充実を図っていきます。

以上を前提に、新年度の活動の特徴は以下の 6 項目となります。

#### 1. 人々とつながり、地域を盛り上げる「イベント」活動：

コロナ禍のもとでも十分な配慮をしたうえでセンター祭などのイベント活動をしてきました。今まで引き継いだ活動を踏まえながら子どもから高齢者まで、地域の方々が楽しみ、学び、ふれあいを感じられる、地域ならではのイベントを企画します。

「おぎくぼセンター祭」には好評の「マルシェ&ハロウィン」を盛り込み、アート展、荻窪音楽祭においても更なる内容の充実を図ります。また、令和 4 年度で終了した本沼集会所まつりに代わり、新たに「春の子どもまつり」を当区民センターにて開催します。

様々なイベントを通して地域の皆様に喜んでもらい、地域の住民交流と活性化に最大限寄与することを目指します。

## 2. 地域のネットワークづくり：

「地域懇談会」は町会・自治会やNPO等、多くの団体との意見交換、学習の場であり、協議会活動の点検のためには欠かせない貴重な機会です。新年度も継続して実施いたします。

「防災フォーラム」は、新年度は「家庭防災」というテーマで実施します。

地域交流会「こみゆに亭」は、食を共に作り楽しむことを通じて交流し、コミュニティ形成に役立てようという企画で始まりました。状況に合わせながら、当初の主旨に近づけるよう工夫を凝らして実施を検討します。また、より自由な形式で企画する交流の場「こみゆに亭カフェ」も継続します。

## 3. 地域発見の機会提供：

好評を頂いた「荻窪の記憶プロジェクト」、野外講座シリーズ「善福寺池の四季」等に代わる、新たな観点からの地域の地理・歴史を紹介する講座を企画します。

平成30年度に始まった「道の愛称プロジェクト」を、あらたに「道の愛称」委員会として継承し、『荻外荘』通りの呼称の普及と名称票管理を継続します。

## 4. 生涯教育に寄与する多彩な講座の提供：

生涯教育へのヒントとなる入門的講座を用意します。教養・文学講座では、「大人の絵本レッスンーすてきに生きるヒント」、「俳句の句会」、健康・スポーツ講座では、「リズム&ストレッチ」、「腰痛スッキリ体操」など、また芸術・芸能関連では、平成22年から毎年続いている「荻窪寄席」を新年度も継続して開催します。この企画は、中途失聴・難聴者の方々にも楽しんでいただける字幕付き寄席で、他に例を見ないユニークで貴重な催しとの評価をいただいています。毎年好評の「講談鑑賞会」も開催します。

#### 5. 幅広い世代へ向けた企画・講座：

現状、講座関係では参加者の年齢が限定的である、との批判に応えるため、例えば「子育て世代」や「熟年層」に関心のあるテーマを募るなどして、様々な世代のニーズにあった講座を検討します。また、平日の夜間や週末、休日の時間帯に講座を開催する方法を検討します。

親子連れで参加できる子ども向け「さいえんす縁日」は令和4年度を上回る10以上の出店を計画し、大勢の子どもたちの参加を見込んでいます。毎年好評の「講談出前授業」は荻窪小学校への出前となる予定です。さらに、未就学児、児童向けの企画として、1で述べたイベントなど、従来好評をいただいている企画をもとに充実させていきます。

#### 6. 広報活動の一層の充実：

隔月発行の広報誌「わたしのおぎくぼ」の充実を図り、町会・自治会、区関連施設、地域内の区立小中学校9校および都立荻窪高校の全生徒、および委員による諸施設・店舗への配布を通じて、地域に役立つ情報を提供します。

ホームページの活用によるタイムリーな情報発信をおこない、応募受付システムの円滑な運用に努めます。

協議会の全てのイベント・講座に関わり、広報誌・ホームページを通じ、開催案内→当日の取材・撮影→開催報告まで、情報発信をおこないます。

さて、最後に協議会自身に目を向けると、勤労年齢の変化等による協議会委員数の慢性的不足が続いております。従前からの事業継続を阻害しかねないこの状態を克服するため、委員募集の方法や組織運営の見直しを行い、改善に向けて第一歩を踏み出します。

## 各部計画（案）

部門	事業・活動	項目	回数	開催予定・単位数
総務部	総務活動	定期総会	1回	4月
		会計監査	2回	4月・10月
		役員会・委員会	24回	毎月
		地域懇談会	1回	未定
		館内研修	3回	随時
		館外研修	1回	9月
		地域交流会「こみゆに亭」	1回	未定
		地域交流会「こみゆに亭カフェ」	3回	8月・2月 他
		近隣清掃クリーン大作戦	2回	5月・10月
		総務・会計業務全般、センター改修準備		随時
地域交流部	集団事業	おぎくぼセンター祭	1回	10月
		アート展	1回	2月
		春の子どもまつり	1回	3月
	協働事業	地域ふれあいコンサート あそび市（松浜中学校）	1回 1回	11月 11月
事業企画部	講座・講演	教養・文学講座	5回	10単位
		医療・健康・スポーツ講座	2回	6単位
		その他講座	2回	4単位
	協働事業	講談鑑賞会・講談出前授業・荻窪寄席 ラジオ体操・健康講座	14回	21単位
		野外講座		
		防災イベント		
		科学イベント		
		国際交流イベント		
広報部	広報活動	広報誌「わたしのおぎくぼ」発行 ホームページの運用	6回 随時	奇数月発行 受講申込システムの導入
共通活動		七館連絡会 部会 実行委員会	6回 188回 25回	各部1回～2回 4部×47回 5実行委員会、各5回

# 第 5 号 議 案

## 令和 5 年度 事業会計収支予算案承認の件

### I. 収 入

(単位 円)

区 分	令和 5 年度 予算	同左内訳 (上段補助金) (下段自主財源)	令和 4 年度 予算	令和 4 年度 実績	前年度予算 対比・差額
1. 区補助金	8,663,000	8,663,000 0	8,672,500	8,672,500	△ 9,500
①委員活動費	3,864,000	3,864,000 0	3,871,500	3,871,500	△ 7,500
②事業費	4,569,000	4,569,000 0	4,551,000	4,551,000	18,000
③事務局運営費	230,000	230,000 0	250,000	250,000	△ 20,000
2. 諸収入	387,000	0 387,000	437,000	414,298	△ 50,000
①事業参加者収入	157,000	0 157,000	174,000	214,600	△ 17,000
②模擬店売上収入	220,000	0 220,000	260,000	188,910	△ 40,000
③雑収入	10,000	0 10,000	3,000	10,788	7,000
3. 繰越金	391,419	0 391,419	372,896	372,896	△ 22,896
合 計	9,441,419	8,663,000 778,419	9,482,396	9,459,694	△ 82,396

## Ⅱ. 支 出

(単位 円)

区 分	令和 5 年度 予算	同左内訳 (上段補助金) (下段自主財源)	令和 4 年度 予算	令和 4 年度 実績	前年度予算 対比・差額
1. 委員活動費	3,864,000	3,864,000 0	3,871,500	3,838,500	△ 7,500
2. 事業費	4,988,000	4,569,000 419,000	4,970,000	4,802,419	18,000
①学級講座費	361,000	346,000 15,000	491,000	484,088	△ 130,000
②集団事業費	1,075,000	875,000 200,000	1,160,000	913,485	△ 85,000
③地域活動事業費	10,000	10,000 0	10,000	8,251	0
④懇談会費	170,000	50,000 120,000	230,000	147,995	△ 60,000
⑤広報活動費	1,459,000	1,449,000 10,000	1,496,000	1,494,681	△ 37,000
⑥総会費	50,000	30,000 20,000	40,000	22,865	10,000
⑦保険料	80,000	63,000 17,000	80,000	74,440	0
⑧事務費	423,000	423,000 0	416,000	414,770	7,000
⑨交通・通信費	40,000	40,000 0	40,000	39,763	0
⑩渉外費	30,000	10,000 20,000	30,000	6,806	0
⑪協働事業費	1,290,000	1,273,000 17,000	977,000	1,195,275	313,000
3. 事務局運営費	230,000	230,000 0	250,000	249,227	△ 20,000
4. 委員研修費	100,000	0 100,000	100,000	42,699	0
5. 諸支出金	109,419	0 109,419	140,896	75,181	△ 31,477
6. 予備費	150,000	0 150,000	150,000	0	0
合 計	9,441,419	8,663,000 778,419	9,482,396	9,008,026	△ 40,977



## 第 6 号 議 案

### 委員の承認の件

\* : 空欄は推薦団体なし

#### 24期 委員名簿（新任）

氏 名	推 薦 団 体*
大石 正明	
竹田 佳保利	
武山 尚道	
中島 圭子	
西島 肇	
平沢 昌子	
三谷 啓子	町 会
三原 紀久恵	東京税理士会荻窪支部
山中 靖之	商 店 会

#### 22期・23期 委員名簿（再任）

氏 名	推 薦 団 体*
伊藤 久美子	
上田 昌子	NPO法人すぎなみ栄養と食の会
恵羅 博	町 会
小野 美和子	民生児童委員協議会
香取 真実	
菊野 一雄	
熊谷 伸成	町 会
桑山 務	東京税理士会荻窪支部
杉浦 和子	
杉原 幸一郎	町 会
西村 淳一	一般社団法人すぎなみ文化協会
弘中 義夫	
船津 まさ子	町 会
堀川 秀夫	商 店 会
本田 良夫	一般社団法人すぎなみ文化協会